

体温計

vol.145
2020 6 月号



注射採血実習



心肺蘇生実習



令和2年度の14名の新研修医です！よろしくお祈いします！

Topics

- 今月の診療科「**病理診断科**」〈病理診断とは〉
- わたしたちの「**検査技術科**」〈臨床検査技師の仕事〉
- 看護部だより〈集中ケア認定看護師として〉

- 外来担当医・特殊外来一覧表
- 病院からのお知らせ



病理診断科

Pathology

Diagnostic



病理標本を患者さんご自身と
病理診断を行っています

病理診断科主任科長 森木 利昭

正常な細胞とがんの細胞を見よう

病気でない健康な細胞は、調和がとれていて、とても美しいんだよ

元気な細胞たちは、みんなで手をとってハーモニーを奏でているようだね!

正常

がん

がん細胞は、核が異常に大きくなっていて、形がいびつで不規則!!

正常

がん

病理診断とは

TOKIOの長瀬智也が演じた病理医が主人公のテレビドラマ“フラジャイル”をご覧になった方もいらっしゃると思いますが、一般の方には病理医はあまり知られてはいないようです。適切な治療のためには適切な診断が必要です。病理診断は病気の確定診断（最終診断）として大きな役割を果たしています。患者さんの体より採取された病変部の組織や細胞から顕微鏡用のガラス標本（病理標本）が作られます。これを顕微鏡で観察して診断するのが病理診断です。この病理診断を専門とする医師が病理医です。病理診断は主治医に報告され、治療に活かされます。病院に病理医がいることは、より良質な医療を提供することにつながります。

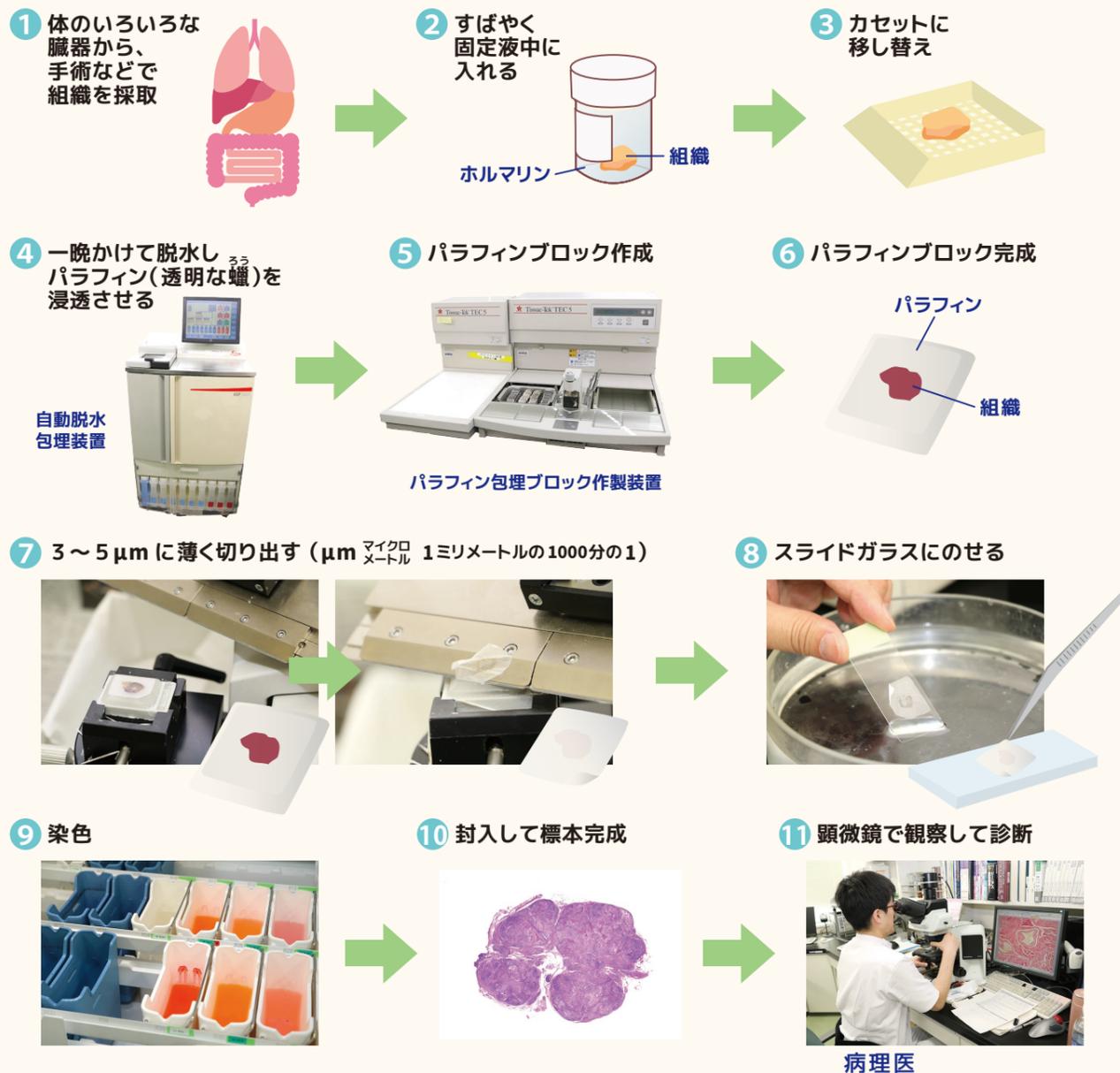
病理診断の種類

- ① 細胞診断**
尿や痰、子宮がん検診の細胞などをスライドガラスに塗ってがん細胞があるかを調べます。細胞検査士（臨床検査技師のうち細胞検査の資格を有する者）との共同作業で行います。
- ② 生検組織診断**
治療方針決定（病気の確定診断）のために行われます。病変部から採取された少量の組織から診断します。
- ③ 手術中の迅速診断**
手術中に約10分で標本を作製し診断します。術者は手術中に治療方針を再検討することができます。
- ④ 手術組織の診断**
病気の最終診断となります。腫瘍であれば良・悪性、組織型などを診断します。がんの場合は広がり（進行度あるいは病期）もわかります。患者さんの今後の治療方針を決め、予後の推測に役立ちます。
- ⑤ 病理解剖**
ご遺族の承諾が得られた場合に行います。生前の診断や治療は正しかったのか、治療効果はあったのか、死因はなんであったのか、などを検討します。医療の検証に役立ち、医学の向上に期待されます。

今後の展望

病気の正確な診断や分子標的治療の指針（コンパニオン診断：右ページ参照）として、免疫染色を含めた病理診断は必要不可欠となっています。診療に役立つ病理診断を引き続き行っていきたいと考えています。

病理診断の流れ



※ 細胞や組織の採取は、外科医や内科医などの臨床医が行いますが、採取された組織の病理標本を観察するのは病理医です。病理標本を作製するまでは臨床検査技師が行います。正しい診断には、臨床医、臨床検査技師、病理医の連携が大切です。



従来の病理診断に加え、病理標本がコンパニオン診断やがんゲノム医療に用いられるなど、病理医の関わる領域も広がっています。我々も日々の研鑽が欠かせません。

医長 江河 勇樹

コンパニオン診断とは、がんの組織を用いて、特定の医薬品がそのがんの効果があるのか調べる検査です。最適な治療薬を選ぶ指針として重要です。

がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて、遺伝子を網羅的に調べ、個人の体質や病状にあわせて治療を行う医療です。

あたしたちの
仕事

検査技術科 臨床検査技師



検査技術科 科長
桑山 安代

検査技術科では、「臨床検査技師」の国家資格を持った医療技術者が、患者さんから採取された血液、尿、喀痰、組織などを分析する検体検査と、心電図検査や超音波検査などの生体検査を行っています。スタッフは総勢46名で、検査室は検体検査6部門（生化学、血液、一般、病理、輸血、微生物）と生体検査1部門（生理機能検査）に分かれます。夜間緊急検査にも対応するため、24時間体制で検体検査を行っています。

患者さんから得られた検査データは、体の状態を知る大事な情報です。これらの情報は病気の診断や治療の方針の決定などに活用されますので、生体検査だけでなく、検体検査でも「検体の向こう側に患者さんがいる」という気持ちを忘れずに、正確な結果をより早く報告できるよう、知識・技術の向上に励んでいます。また、院内の感染管理、栄養サポート、心臓カテーテル検査、手術室の生体モニタリングなど、チーム医療に携わっています。



知識・技術の向上に励んでいます！

信頼性・安全性の高い検査を提供します

2019年9月に臨床検査室の国際規格である「ISO15189」認定を取得しました。ISO15189とは臨床検査に特化した国際規格であり、検査室の質と能力を保証する証となるものです。これからは品質管理システムを充実させ、検査業務の標準化による検査精度の確保、作業の効率化をはかり、信頼性・安全性の高い検査を提供できるよう努めていきます。



赤いラインの先は、
専用予防衣の着用がなければ入室できません

中央採血室・一般検査室



採血、尿検査、脳脊髄液などの検査

一般検査室では、尿中に出ている糖、タンパクの量や血尿の有無を調べています。また、尿を遠心分離して標本を作製し、尿中の異常な細胞の有無を評価します。中央採血室では、皆さんの採血を担っています。

採尿時には、尿の出始めの尿は採らずに、中間の尿を採ってくださいね。



中央分析室(生化学)



血液中の酵素やホルモンなどの検査

採血室や病棟などで採血された血液中の成分を調べています。栄養状態や肝臓・腎臓などの機能がわかる生化学項目（タンパク質、血糖、AST、クレアチニンなど）や、感染症や腫瘍マーカーなどの免疫学的項目など100項目以上を、自動化された分析装置で測定しています。



検査項目により25～50分と結果が出るまでの時間が異なります。正確な結果を、より早く報告できるように努めています。

輸血管理室



輸血に関する検査や輸血用血液の管理

血液型や輸血による副作用を防止するための検査をしています。輸血は突然必要になる場合もあるので、24時間体制で安心安全な輸血が行われるように心がけています。



輸血が必要な患者さんの血液と輸血する血液の相性が良いか悪いかを調べています。

微生物検査室



感染症治療のための検査

患者さんから採取された臨床材料（血液、喀痰、便、尿、膿など）から、感染症を引き起こしている病原菌を見つけ、有効な抗生剤を調べます。院内で、感染管理上問題となる菌が増えていないかを毎日チェックしています。



培養して発育した菌



遺伝子解析装置などの機器を駆使し、感染症と戦います！

血液検査室



赤血球、白血球、血小板、ヘモグロビンなどの検査

採血された血液中の細胞成分である赤血球、白血球、血小板の数や、血液塗抹標本を作製して、顕微鏡で血液細胞の分類や、異常な細胞がないかを検査しています。血液塗抹標本から血液疾患などいろいろなことを推測することができます。

認定血液検査技師を含むスタッフ5名で検査を行っています。

病理検査室



組織や細胞の顕微鏡検査

手術や検査で採取した組織や、尿や痰などの細胞から標本を作製し、顕微鏡で観察します。これらの結果をもとに、病名の確定や治療法の選択や評価がされています。



標本の良し悪しが診断に影響する場合がありますので、丁寧な作業を心がけています。

生理機能検査室



心電図・超音波(エコー)・肺活量などの検査

専用の機器を用いて得られる生体情報を波形や画像として記録します。検査の種類も多くあり、さまざまな診療科を受診される患者さんと接する検査室です。時間がかかる検査や準備が必要な検査も多くあります。待ち時間短縮のため、予約時間に合わせてお越しください。



心電図は手首、足首、胸部が出ないようにして検査します。ほかにも検査する部分の肌を出していただくことがあります。脱ぎやすい服装でお越しください。



集中ケア認定看護師 中村真理子

私は集中治療室（ICU）で勤務しています。ICUは、重症な患者さんが入室されます。緊急で入室されたり、大きな手術後に入室されたりします。そして、救命が第一の場所です。

集中ケア認定看護師の役割は、生命危機状態にある患者さんの重症化の予測とその予防や、安静などによる身体能力の低下予防のため、早期リハビリテーションなどを行い、元の生活に戻れるように支援することです。

また、集中ケア認定看護師はICU以外でも呼吸ケアサポートチームの一員として、医師、理学療法士、臨床工学技士とともに人工呼吸器の補助を使って治療をされている患者さんのもとうかがい、ご自分で呼吸ができるようになるための支援をしています。

治療と並行して早期回復に繋がるように、また、患者さん、ご家族の苦痛が軽減できるように、何ができるのか、何をすれば良いのかを、日々スタッフと考え看護をしています。

多くの患者さんは元気になられます。しかし助けることができない命もあります。そのような時は、ご本人は、どのような最期を望まれていたのか、残されたご家族がこれから生きていかれるために、どのような時間を提供すればいいのかも話し合い、看護をしています。

自分の命、家族の命。人間は遅かれ早かれ、いつかは最期の時を迎えます。どう生きてどう最期を迎えたいのか、日頃からご家族（親しい人）でたくさんお話しをしてほしいと思います。

多くの患者さん、ご家族は不安を抱え、治療に臨まれます。少しでも患者さん、ご家族が安心でき、回復できるように、日々学習し、支援できるようにしていきたいと思っています。



呼吸ケア
サポート
チーム



ICU
(集中治療室)

外来診療時の受付時間

8:00～11:30

- 一部、受付曜日や時間が異なる診療科があります
- 土・日曜日・祭日は休診です
- 担当医は、都合により変更することがあります

急病時の連絡先

24時間 受け付けています

- 救急外来 054-253-3125**
- 心臓救急 054-252-4399**

市民健診センター

東館3階

人間ドック	脳ドック	健康診断	レディース検診
予約制	予約制	予約制	予約制
当日結果説明	当日結果説明	当日結果説明	当日結果説明
昼食付			

予約とお問い合わせは
市民健診センターへ
どうぞ

054-253-3125 (内線 5350)
受付 月～金 **10:30～16:00**
(祝日、年末年始除く)

